

有馬さんの 足跡振り返る

静岡文化芸術大

浜松市中区の静岡文化芸術大で1日、同大理事長を務めた有馬朗人さん(享年90)の功績を振り返る回顧展



有馬さんの功績を紹介する回顧展。浜松市中区の静岡文化芸術大

(実行委主催、静岡新聞社・静岡放送後援)が始まった。初日の式典では、有馬さんと親交のあった人々が集まり、改めて遺徳をしのんだ。

有馬さんは2010年から理事長を務めた。会場では、浜松との関わりをはじめ、物理学者、文部大臣、俳

人などとしての足跡を紹介している。直筆ノートや俳句など46点のほか、同大理事長室に置かれていたソファや机なども見られる。

式典には有馬さんの同窓生や文化芸大の教職員ら127人が集まり、黙とうをささげた。横山俊夫学長は「若い

人にご覧してほしい展示。学生が有馬さんの精神に触れる機会になつてほしい」とあいさつした。

有馬さんが主宰した天為俳句会の和久田隆子さんや、川勝平太知事も登壇した。川勝知事は、東京駅で有馬さんに理事長就任を要請した際のエピソードに触れながら、「生涯を学問と教育にささげ、やままいか精神を体現した方だった」と述べた。

回顧展は9日まで(5日休展)。